

FormPat 5

環境ファイル・リファレンスガイド

2017/05/10

Digital Assist

Copyright(C) 2017 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

目次

目次	2
はじめに	3
システム環境ファイル(control.config)	4
ユーザー環境ファイル(usercontrol.config)	9
オプション環境ファイル(option.config)	15

はじめに

本書では、電子フォームとワークフローシステム FormPat 5（以下、FormPat）を稼働させるために必要な環境ファイルについて説明します。

本書は、FormPat Ver.5.1.0.0 以降を対象としています。

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標です。

システム環境ファイル(control.config)

control.config ファイルは FormPat フォルダに存在します。

テキストエディタで変更が可能ですが、運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. データフォルダのパス

既定のインストール先へデータフォルダをインストールした場合、この設定の必要はありません。次へ進んでください。

```
<path>C:¥FormPatData¥</path>
```

C:¥FormPatData¥ はフォームデータを格納するフォルダを絶対パスで設定します。

2. データフォルダのサブフォルダ単位

```
<subfolder_mode>1,1000</subfolder_mode>
```

データフォルダ内を一定のデータファイル数毎にサブフォルダ化します。

1 はサブフォルダ化する開始データ ID を設定します。データ ID はシステム使用開始時に 1 から自動採番されるため通常は変更不要です。

1000 はサブフォルダに格納されるデータファイル数を設定します。ただし、データファイルは複数の関連ファイルから構成されるため実際に格納されるファイル数は設定値の数倍になります。

3. ログイン有効時間

```
<logontime>180</logontime>
```

180 はユーザーがサーバーへ何も要求しない場合の、タイムアウトまでの時間を分単位で入力します。最大値は 9999 分です。

長すぎると設定時間まで不要なセッションが残りサーバーに負荷を与えますが、短すぎるとタイムアウトの頻度が増します。導入環境に合わせて設定してください。

4. 電子メール機能の有無

```
<smtp_on>0</smtp_on>
```

0 はワークフローで申請フォーム受信時の電子メール機能を利用しない場合は 0 、利用する場合は 1 を設定します。

FormPat 運用中に設定変更したときは、ユーザー毎の再ログインが必要です。

5. メール送信の環境

```
<smtp_auth>mode=0;ssl=0;smtp_server=smtp.domain.co.jp;smtp_port=25;pop3_server=pop3.domain.co.jp;pop3_port=110;uid=account;pwd=accountPwd;sender_address=id@domain.co.jp</smtp_auth>
```

電子メール機能を利用する場合はメール送信環境を設定します。電子メール機能を利用しない場合は変更不要です。

mode=0 はメールサーバーの SMTP 認証方式を設定します。SMTP 認証の必要ない場合は 0、「AUTH-PLAIN」認証方式は 1、「AUTH-LOGIN」認証方式は 2、「AUTH-CRAM-MD5」認証方式は 3、「POP before SMTP」認証方式は 4 を設定します。

ssl=0 は SSL/TLS を使用しない場合は 0、使用する場合は 1 を設定します。メールの

送信元は 0 ならユーザー登録の先頭のメールアドレスから(承認期限監視からのメールを除く)、1 なら `id@domain.co.jp` からになります。

`smtp.domain.co.jp` は SMTP サーバー名を設定します。

25 は SMTP ポート番号を設定します。(すべての認証方式で設定が必要です。)

`pop3.domain.co.jp` は POP3 サーバー名を設定します。(mode=4 のときのみ設定が必要です。)

110 は POP3 ポート番号を設定します。(mode=4 のときのみ設定が必要です。)

`account` は SMTP 認証のアカウント名を設定します。(mode=1 or 2 or 3 or 4 のとき設定が必要です。)

`accountPwd` は SMTP 認証のパスワードを設定します。(mode=1 or 2 or 3 or 4 のとき設定が必要です。)

`id@domain.co.jp` はメール送信を行うメールアドレスを設定します。

6. データベースの環境

```
<database>server=127.0.0.1;uid=sa;pwd=password;Initial Catalog=FormPat</database>
```

127.0.0.1 はサーバー運用ならデータベースのホスト名または IP アドレスを設定します。スタンドアロン運用なら変更不要です。

sa はログイン名を設定します。

デフォルトでインストールされた場合は変更不要です。

password はログイン名のパスワードです。

データベースのインストールで入力したパスワードを設定します。

Initial Catalog=FormPat は変更不要です。

7. データベースのタイムアウト時間

```
<dbtimeout>30</dbtimeout>
```

30 はデータベース実行処理の待機時間を秒単位で入力します。0 は制限なしを示しますが永久的に待機されるため使用しないでください。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

8. XML データ・データベース格納の有無

```
<xml_db>0</xml_db>
```

0 は XML データおよび関連ファイルをデータベースに格納するか設定します。

XML データおよび関連ファイルをデータベースに格納しない場合は 0、格納する場合は 1 を設定します。

対象のファイルは、データ XML ファイル(フォーム名-連番.xml)、印鑑 XML ファイル(フォーム名-連番_BoxStamp.xml)、履歴 XML ファイル(フォーム名-連番_History.xml)、ワークフロー決裁 XML ファイル(フォーム名-連番_Route.xml)です。

運用中に設定変更も可能です。再ログイン後、該当データを表示したときに順次反映されます。

9. 検索結果最大行数

```
<searchmaxline>500</searchmaxline>
```

500 はデータ検索機能の検索結果として応答する最大行数を設定します。
運用環境によるパフォーマンス確保のため、必要により設定してください。

10. データベース参照定義ファイル - イメージフォルダのパス

<reference_imagepath>C:¥database¥image¥</reference_imagepath>

データベース参照定義ファイルを使用し、参照先データベースからイメージ(画像)ファイルを参照する場合に設定します。

データベース参照定義ファイル、またはイメージファイルを未使用なら変更は不要です。

C:¥database¥image¥ はイメージファイルが格納されているフォルダを絶対パスで設定します。この場合、データベースにはイメージファイルのファイル名が格納されているものとしします。

データベースに絶対パス付きでファイル名が格納されている場合はブランクにします。

11. 統合 Windows 認証

<authentication>0</authentication>

0 は FormPat ログイン認証に、統合 Windows 認証を利用するか設定します。

統合 Windows 認証を使用しない場合は 0、使用する場合は 1 を設定します。

FormPat 導入時は、0 を設定します。統合 Windows 認証は FormPat 導入処理完了後、設定してください。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

12. Active Directory アクセス権連携

<adauth_mode>0</adauth_mode>

0 はフォームデータへのアクセス権設定を FormPat で行うか、Active Directory のアクセス権から取得するか設定します。

FormPat でアクセス権設定を行う場合は 0、Active Directory のアクセス権から取得する場合は 1 を設定します。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

13. Active Directory アクセス権連携フォルダのパス

<adauth_path>C:¥FormPatAD¥</adauth_path>

C:¥FormPatAD¥ はフォームデータへのアクセス権を Active Directory から取得する場合の Active Directory のアクセス権設定が行われているサブフォルダが含まれるフォルダを設定します。

詳しくは「環境設定ガイド」の「統合 Windows 認証について」を参照してください。

14. ダウンロード同時実行可能数

<downloadmax>1</downloadmax>

「エクスポート」オプションを導入の場合のみ使用します。

1 はエクスポート時に Web サーバーで HTTP ダウンロードを実行しますがその時の同時実行数を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

15. カスタム DLL 関数コールの有無

<customdllmode>0</customdllmode>

0 は FormPat (FormPat Mobile 含む) に導入ユーザー独自の関数を追加しない場合は 0、追加する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

16. 取消し確認メッセージの有無

<cancelmsg>0</cancelmsg>

0 は フォーム入力画面で[取消]、[ホーム]ボタンをクリックしたとき、確認メッセージを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

17. 印鑑捺印確認メッセージの有無

<stampmsg>0</stampmsg>

0 は 印鑑捺印を実行したとき、確認メッセージを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

18. 連続入力確認メッセージの有無

<repeatmsg>0</repeatmsg>

0 は フォーム連続入力を実行したとき、確認メッセージを表示しない場合は 0、表示する場合は 1 を設定します。

通常は変更不要です。状況により変更してください。

19. 印鑑サイズの初期値

<stampsize>120,120</stampsize>

120,120 は ユーザー登録画面に表示する印鑑サイズの初期値を設定します。

幅, 高さ の順序で 0.1mm 単位に設定します。

氏名のみ印鑑は基本的に変更不要ですが、日付印を使用される場合は 16mm 以上を推奨します。

20. 印刷フォントサイズの自動調整

<multirow_font>1</multirow_font>

印刷時に複数行設定されている項目を枠内に文字が収まるようフォントサイズを自動調整するか設定します。

1 は自動調整しない場合は 0、自動調整する場合は 1 を設定します。

21. 日付印の有無

<datestamp>0</datestamp>

0 は 印鑑捺印の印鑑形式を設定します。

通常印(氏名等の固定文字の印鑑)は 0、日付印(中央に捺印日付が入る印鑑)は 1 以上を設定します。1 以上の設定値は下記の通りです。

例えば 2006 年 1 月 2 日の場合、

1 は 2006.01.02、2 は 2006/01/02、3 は 2006.1.2、4 は 2006/1/2

11 は '06.01.02、12 は '06/01/02、13 は '06.1.2、14 は '06/1/2 と表現されます。

22. SSL の有無

<ssl>0</ssl>

0 はサーバーに SSL を導入しない場合は 0 、導入する場合は 1 を設定します。
FormPat 独自のカメラ機能を貼付画像・手書きサインで有効にするには SSL の導入が必要です。導入方法については SSL 認証局の情報を参考にしてください。

23. OCR のホワイトリスト

`<ocr_whitelist>0123456789./ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ</ocr_whitelist>`
`0123456789./ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ` は OCR 認識させる文字を設定します。

認識率を向上させるため、必要な文字に絞り込んでください。

24. ログファイルの出力レベル

`<loglevel>2</loglevel>`

2 はエラー情報を出力する場合は 1 、ステータス情報を出力する場合は 2 、詳細情報を出力する場合は 3 を設定します。ログファイルの容量は $1 < 2 < 3$ となります。

25. デバッグモードの有無

`<debugmode>0</debugmode>`

0 は デバッグモードの有無を設定しますが、通常はデフォルト値を変更する必要はありません。

検索結果一覧にデータ連番を表示しない場合は 0 、表示する場合は 1 を設定します。

1 のとき、`<xml_db>`が 0 の設定で登録されているデータはデータ連番の背景が赤になります。

上記以外の設定項目は変更しないでください。

ユーザー環境ファイル(usercontrol.config)

usercontrol.config ファイルは FormPat フォルダ存在します。

テキストエディタで変更が可能ですが、運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. 作成者のメニュー選択

```
<create> 1</create>
```

1 はメニューに表示されるフォームの選択権限を設定します。

データ作成者が変更権限を有しているフォームのみ選択可能にする場合は 0、すべてのフォームの選択を可能にする場合は 1 を設定します。

Active Directory アクセス権連携を行う場合に 0 を設定することで、ログインユーザー毎の動的なメニュー表示が可能です。

2. 作成者の表示権限の有無

```
<display> 1</display>
```

1 はデータ作成者に該当データへの表示権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

3. 作成者の修正権限の有無

```
<update> 1</update>
```

1 はデータ作成者に該当データへの修正権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

4. 作成者の削除権限の有無

```
<delete> 1</delete>
```

1 はデータ作成者に該当データへの削除権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

5. 作成者の印刷権限の有無

```
<print> 1</print>
```

1 はデータ作成者に該当データへの印刷権限を与える場合は 1、与えない場合は 0 を設定します。

6. フォーム表示のズーム倍率

```
<formrate> 150,145,140,135,130,125,120,115,110,105,100,95,90,85,80,75,70,65,60,55,50</formrate>
```

150,145,.....,55,50 はフォーム表示画面で選択可能なズーム倍率を設定します。

7. フォーム表示のズーム倍率表示

```
<formrated> 150%,145%,140%,135%,130%,125%,120%,115%,110%,105%,100%,95%,90%,85%,80%,75%,70%,65%,60%,55%,50%</formrated>
```

150%,145%,.....,55%,50% はフォーム表示画面のズーム倍率のドロップダウンリストに表示する文字を設定します。

必ず、<formrate>と<formrated>の定義数は一致する必要があります。

8. ページ操作ボタン表示の有無
<pagebutton>1</pagebutton>
1 は複数ページのフォームに対して、ページ操作ボタンをフォームに表示する場合は 1、表示しない場合は 0 を設定します。
9. 検索条件の標準期間
<searchterm>1y</searchterm>
1y は検索条件の更新日を標準で何年(月, 日)前から今日までにするかを設定します。1 は年数または月数または日数を表します。
y は単位を表します。年は y、月は m、日は d です。
(例) 1 年前から今日までなら 1y、2ヶ月前から今日までなら 2m、3 日前から今日までなら 3d と設定します。
10. 検索条件のグループ内訳表示の有無
<searchitem>0</searchitem>
0 は検索条件の項目選択で FormPat Designer で「グループ名称」が定義されている項目は「グループ名称」のみを表示する場合は 1、「グループ名称」の内訳の「項目名称」も表示する場合は 1 を設定します。
11. 検索結果の 1 ページ内行数
<searched_pagerow>15</searched_pagerow>
15 は検索結果の 1 ページ内に表示するデータ行数を設定します。
12. ワークフロー一覧の 1 ページ内行数
<sendreceive_pagerow>15</sendreceive_pagerow>
15 は申請中一覧・差戻/取戻一覧・未承認一覧・承認済一覧・決裁済一覧の 1 ページ内に表示するデータ行数を設定します。
13. フォーカス枠スタイル
<focus_frame_style>2,solid,ff0000</focus_frame_style>
フォーム入力画面でフォーカスを受けた入力項目を強調表示するための枠スタイルを設定します。
2 は枠幅をピクセル単位で設定します。
solid は枠線のスタイルを設定します。none は枠線なし、dotted は点線、dashed は破線、solid は実線、double は二重実線、groove は枠をくぼみ表示、ridge は枠を浮き出し表示、inset は入力項目をくぼみ表示、outset は入力項目を浮き出し表示です。
ff0000 は枠色を RGB 値の 16 進数で設定します。
14. サインの太さ
<sign_pen>2,4</sign_pen>
2,4 は手書きサインのペンの太さを設定します。
2 は標準を選択時の太さ、4 は太字を選択時の太さをピクセル単位で設定します。
15. 申請メールの件名
<kisub>FormPat メール : 申請通知</kisub>
FormPat メール : 申請通知 は承認者へ申請を通知するメールの件名を設定します。

16. 申請メールの本文

<kibody>申請しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</kibody>

申請しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は申請メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

+user、+name はメールの件名にも使用できます。(以下のメールでも利用できます。)メール本文に FormPat ログイン画面の URL を設定しメールソフトのハイパーリンク機能を利用できます。また、URL に ?flrfmuid=+form を付与することで該当データを直接表示することも可能です。(例) http://ホスト名/FormPat/?flrfmuid=+form

(以下のメール本文でも利用できます。ただし、取り戻しメールは該当データが無くなっているため使用できません。)

17. 再申請メールの件名

<rasub>FormPat メール : 再申請通知</rasub>

FormPat メール : 再申請通知 は承認者へ再申請を通知するメールの件名を設定します。

18. 再申請メールの本文

<rabody>再申請しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</rabody>

再申請しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は再申請メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

19. 取り戻しメールの件名

<tmsub>FormPat メール : 取り戻し通知</tmsub>

FormPat メール : 取り戻し通知 は承認者へ申請の取り戻しを通知するメールの件名を設定します。

20. 取り戻しメールの本文

<tmbody>取り戻しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name</tmbody>

取り戻しました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name は取り戻しメールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。

21. 承認メールの件名

<sisub>FormPat メール : 承認通知</sisub>

FormPat メール : 承認通知 は次の承認者へ承認を通知するメールの件名を設定します。

22. 承認メールの本文

<sibody>承認しました。<改行><改行>承認者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</sibody>

承認しました。<改行><改行>承認者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は承認メールの本文を設定します。+user は承認者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

23. 却下メールの件名

<kysub>FormPat メール : 却下通知</kysub>

FormPat メール : 却下通知 は申請者または前の承認者へ却下を通知するメールの件名を設定します。

24. 却下メールの本文

<kybody>却下しました。<改行><改行>却下者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</kybody>

却下しました。<改行><改行>却下者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は却下メールの本文を設定します。+user は却下者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

25. 再申請請求メールの件名

<adsub>FormPat メール : 再申請請求通知</adsub>

FormPat メール : 再申請請求通知 は申請者または前の承認者へ再申請請求を通知するメールの件名を設定します。

26. 再申請請求メールの本文

<adbody>再申請請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</adbody>

再申請請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は再申請請求メールの本文を設定します。+user は請求者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

27. 再承認請求メールの件名

<rdsb>FormPat メール : 再承認請求通知</rdsb>

FormPat メール : 再承認請求通知 は前の承認者へ再承認請求を通知するメールの件名を設定します。

28. 再承認請求メールの本文

<rdbody>再承認請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</rdbody>

再承認請求しました。<改行><改行>請求者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は再承認請求メールの本文を設定します。+user は請求者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

29. 決裁メールの件名

<kesub>FormPat メール : 決裁通知</kesub>

FormPat メール : 決裁通知 は申請者へ決裁を通知するメールの件名を設定します。

30. 決裁メールの本文

<kebody>決裁しました。<改行><改行>決裁者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</kebody>

決裁しました。<改行><改行>決裁者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment は決裁メールの本文を設定します。+user は決裁者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。

31. 経路変更メールの件名
<khsub>FormPat メール : 経路変更通知</khsub>
FormPat メール : 経路変更通知 は経路変更後の承認者へ変更を通知するメールの件名を設定します。
32. 経路変更メールの本文
<khbody>経路変更されました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name</khbody>
ody>
経路変更されました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name は経路変更メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。
33. スキップ後の申請メールの件名
<sksub>FormPat メール : 申請通知</sksub>
FormPat メール : 申請通知 は承認者へ申請を通知するメールの件名を設定します。(前の承認者がスキップされたときに使用されます。)
34. スキップ後の申請メールの本文
<skbody>前の承認者がスキップされ申請が届きました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment </skbody>
ody>
前の承認者がスキップされ申請が届きました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment はスキップ後の申請メールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名、+comment はコメントと置換されます。
35. スキップメールの件名
<spsub>FormPat メール : スキップ通知</spsub>
FormPat メール : スキップ通知 はスキップされた承認者へスキップを通知するメールの件名を設定します。
36. スキップメールの本文
<spbody>スキップされました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment</spbody>
ody>
スキップされました。<改行><改行>申請者 : +user<改行>文書名 : +name<改行>コメント : +comment はスキップメールの本文を設定します。+user は申請者名、+name はフォーム名と置換されます。
37. 承認期限監視サービス監視間隔(分)
<interval>10</interval>
「承認期限監視サービス」オプションを導入される場合のみ使用します。
10 は承認期限監視サービスの監視間隔を分単位で設定します。
38. 承認期限遅延メールの件名
<tisub>FormPat メール : 承認期限通知</tisub>
FormPat メール : 承認期限通知 は承認期限が遅延している旨の送信メールの件名を設定します。

39. 承認期限遅延メールの本文

<tibody>承認期限を過ぎている文書があります。<改行><改行>+name(文書名に●が付いているとき) <改行>あなたに承認期限は設定されていませんが、後ろの承認者の承認期限が<改行>過ぎています。</tibody>

承認期限を過ぎている文書があります。<改行><改行>+name(文書名に●が付いているとき) <改行>あなたに承認期限は設定されていませんが、後ろの承認者の承認期限が<改行>過ぎています。 は承認期限遅延メールの本文を設定します。+name はフォーム名、表題名、申請者、遅延日数と置換されます。

上記以外の設定項目は変更しないでください。

オプション環境ファイル(option.config)

option.config ファイルは FormPat をインストールフォルダ存在します。

テキストエディタで変更が可能ですが、運用中システムの変更はユーザーがログインしていない状態で行ってください。

1. DSN の定義

```
<dsnxxx>Provider=sqloledb;Data Source=127.0.0.1;User Id=sa;Password=password;Initial Catalog=FormPat</dsnxxx>
```

xxx は FormPat Designer や外部参照名称の外部ファイル SetControl.xml で使用する任意の名称を設定します。接頭文字 dsn は大文字 DSN も使用できます。

Provider=... は各種データベースの DSN(Data Source Name)を設定します。

<dsnxxx>...</dsnxxx>は複数行の定義を行うことで複数の DSN の定義が可能です。